



2024年12月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2025年2月14日

上場会社名 株式会社ベビーカレンダー 上場取引所 東
 コード番号 7363 URL https://corp.baby-calendar.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 安田 啓司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 竹林 慶治 TEL 03-6631-3600
 定時株主総会開催予定日 2025年3月28日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2025年3月31日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期の業績 (2024年1月1日～2024年12月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期	1,528	27.0	50	—	47	—	17	—
2023年12月期	1,203	10.8	△31	—	△26	—	△100	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年12月期	19.42	19.13	2.4	3.6	3.3
2023年12月期	△111.17	—	△13.2	△2.4	△2.6

(注) 1. 当事業年度において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前事業年度に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

2. 当社は、2023年12月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年12月期	1,558	704	45.2	790.97
2023年12月期	1,021	706	69.2	783.42

(参考) 自己資本 2024年12月期 704百万円 2023年12月期 706百万円

(注) 当事業年度において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前事業年度に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年12月期	324	△599	284	394
2023年12月期	△14	△290	△54	357

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2024年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2025年12月期の業績予想 (2025年1月1日～2025年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,861	21.8	85	70.7	75	58.3	48	183.0	55.00

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2024年12月期	941,700株	2023年12月期	941,700株
2024年12月期	50,916株	2023年12月期	40,032株
2024年12月期	884,818株	2023年12月期	901,668株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(持分法損益等)	11
(セグメント情報等)	11
(企業結合等関係)	13
(1株当たり情報)	18
(重要な後発事象)	18

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社では「女性の笑顔でいっぱい -A Sea of Smiling Women-」をビジョンに掲げ、女性の一生をサポートするための情報発信を主軸とした事業及び産婦人科など全国の医療施設向けにITを用いたソリューションサービスを提供する事業を展開しております。

こうした取り組みの結果、当事業年度の売上高は1,528,358千円(前年同期比27.0%増)、売上総利益1,013,570千円(前年同期比31.4%増)、営業利益は50,091千円(前年同期は31,413千円の営業損失)、経常利益は47,596千円(前年同期は26,706千円の経常損失)、当期純利益は17,186千円(前年同期は100,242千円の当期純損失)となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

(メディア事業)

メディア事業は「ベビーカレンダー」「ムーンカレンダー」「ウーマンカレンダー」「シニアカレンダー(旧介護カレンダー)」をはじめとした女性のライフステージそれぞれに注力した専門サイトの運営をおこない、①PV連動型広告、②タイアップ広告、③成果報酬型広告の3つの活動をしてまいりました。当事業年度は、前述の当社運営サイトはいずれもPV数およびUU数ともに好調に推移しており、広告販売枠においても当社運営サイトの伸長と並び順調に推移しております。また、今期から強化している主に編集面における生産性の向上が功を奏した結果となりました。

その結果、売上高は1,245,145千円(前年同期比37.8%増)、セグメント利益は346,715千円(前年同期比75.7%増)となりました。

(医療法人向け事業)

医療法人向け事業は、医療機関が抱えるさまざまな課題解決のために「ベビーパッドシリーズ」「エコー動画館」「かんたん診察予約システム」「おぎゃー写真館・動画館」といった各種サービス、およびホームページや動画制作、SEOコンサルティングなど総合的な「Webマーケティング」「グラフィック制作」といった幅広いソリューションの拡販をおこなっております。また、診察等各種予約やコンテンツの閲覧などができる産院を中心とした医療機関向けスマートフォンアプリをリリースし、これまで以上に医療機関とその患者様の利便性を高め満足していただける体制を構築しました。一方で、当事業年度は、「ベビーパッドシリーズ」における契約更新件数が多かった前年と比較すると売上高、セグメント利益ともに減少する結果となりました。

その結果、売上高は283,213千円(前年同期比5.4%減)、セグメント損失は3,519千円(前年同期は16,562千円のセグメント利益)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当事業年度末の資産は、前事業年度末と比べ537,527千円増加し1,558,992千円となりました。これは主に、のれんが467,582千円および繰延税金資産が66,662千円増加したことによるものであります。

(負債)

当事業年度末の負債は、前事業年度末と比べ539,329千円増加し854,408千円となりました。これは主に、短期借入金が139,998千円および長期借入金が153,510千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当事業年度末の純資産は、前事業年度末と比べて1,802千円減少し704,584千円となりました。これは、主に当期純利益17,186千円を計上し、一方で自己株式が9,576千円増加したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は、前事業年度末と比べて36,980千円増加し、394,203千円となりました。当事業年度における各キャッシュ・フローとそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は324,955千円(前期は14,107千円の使用)となりました。主な要因は、税引前当期純利益44,911千円、減価償却費12,327千円の増加、売上債権の増減額が66,767千円減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は599,224千円(前期は290,302千円の使用)となりました。主な要因は、子会社株式の取得による支出452,776千円、事業譲受による支出122,050千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は284,566千円(前期は54,780千円の使用)となりました。これは、長期借入による収入300,000千円によるものであります。

(4) 今後の見通し

当社は「女性の笑顔でいっぱい - A Sea of smiling Women -」をビジョンに掲げ、女性の一生をサポートするための情報発信を軸とするメディア事業をメインに、また全国の医療機関向けにITを介したソリューションを提供する医療法人向け事業を展開しております。

当社の主要事業であるメディア事業は、従来の「妊娠・出産・育児」領域を軸に、専門サイト「ベビーカレンダー」、「ムーンカレンダー」、「ウーマンカレンダー」の運営を中心に行ってまいりましたが、これらのサイトの拡充はもちろん、さらに「女性の笑顔でいっぱい - A Sea of smiling Women -」のビジョンのもと、「生理」「結婚・恋愛」「美容」「生活」などについて情報発信の拡充を推進しており、女性の一生をサポートできるようさまざまなライフステージにおける課題解決全般にサービス領域を広げつつあります。

特に医療情報が含まれる記事は、不確かな情報が掲載されないようその信頼性を高めるために、引き続き医師、助産師、保育士、看護師、管理栄養士など100名以上の専門家と提携し、すべての記事を専門家が監修することで品質を担保しております。なお、ビジネスモデルとしては①PV連動型広告、②タイアップ広告、③成果報酬型広告を引き続き展開してまいります。

以上のことも踏まえて、2025年12月期の通期見通しは、更なるメディア事業拡大による増収と2024年12月期売上実績ベースに事業譲受した事業の通期業績加算した計画としており、売上高1,861百万円(前期比21.8%増)、営業利益85百万円(前期比70.7%増)、経常利益75百万円(前期比58.3%増)、当期純利益は48百万円(前期比183.0%増)と見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、連結財務諸表を作成しておらず、また国際的な事業展開や資金調達を行っておりませんので、日本基準に基づき財務諸表を作成しております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年12月31日)	当事業年度 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	357,223	394,203
売掛金	222,145	231,933
貯蔵品	33,669	31,048
前渡金	4,131	23,427
前払費用	9,863	26,854
未収還付法人税等	2,216	—
その他	18,102	3,285
貸倒引当金	△1,365	△2,571
流動資産合計	645,986	708,181
固定資産		
有形固定資産		
建物	13,337	13,337
減価償却累計額	△10,922	△11,347
建物(純額)	2,414	1,989
工具、器具及び備品	19,536	26,664
減価償却累計額	△10,875	△14,839
工具、器具及び備品(純額)	8,660	11,825
リース資産	1,753	1,753
減価償却累計額	△1,092	△1,260
リース資産(純額)	660	492
有形固定資産合計	11,736	14,307
無形固定資産		
のれん	42,947	510,529
ソフトウェア	201,602	178,252
顧客関連資産	28,546	24,815
契約関連資産	42,556	38,115
リース資産	181	71
その他	149	149
無形固定資産合計	315,985	751,935
投資その他の資産		
投資有価証券	30,000	0
敷金	17,757	17,757
繰延税金資産	—	66,662
破産更生債権等	3,003	3,883
長期前払費用	—	148
貸倒引当金	△3,003	△3,883
投資その他の資産合計	47,757	84,568
固定資産合計	375,479	850,811
資産合計	1,021,465	1,558,992

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年12月31日)	当事業年度 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	37,083	48,550
短期借入金	50,000	189,998
1年内返済予定の長期借入金	66,934	100,004
リース債務	160	123
未払金	96,217	146,378
未払法人税等	—	40,864
前受金	5,560	79,086
預り金	292	3,126
その他	58	44,264
流動負債合計	256,305	652,396
固定負債		
長期借入金	40,930	194,440
リース債務	591	394
資産除去債務	7,164	7,177
繰延税金負債	10,086	—
固定負債合計	58,773	202,011
負債合計	315,078	854,408
純資産の部		
株主資本		
資本金	285,030	285,030
資本剰余金		
資本準備金	315,033	315,033
その他資本剰余金	100,593	91,181
資本剰余金合計	415,626	406,214
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	97,687	114,873
利益剰余金合計	97,687	114,873
自己株式	△91,957	△101,534
株主資本合計	706,386	704,584
純資産合計	706,386	704,584
負債純資産合計	1,021,465	1,558,992

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当事業年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
売上高	1,203,242	1,528,358
売上原価	432,126	514,788
売上総利益	771,115	1,013,570
販売費及び一般管理費	802,529	963,479
営業利益又は営業損失(△)	△31,413	50,091
営業外収益		
受取利息	6	30
違約金収入	7,378	—
受取手数料	—	864
その他	837	95
営業外収益合計	8,222	990
営業外費用		
支払利息	699	2,440
支払手数料	2,683	—
貸倒引当金繰入額	—	880
その他	131	164
営業外費用合計	3,514	3,484
経常利益又は経常損失(△)	△26,706	47,596
特別損失		
投資有価証券評価損	18,548	29,999
抱合せ株式消滅差損	—	17,939
特別損失合計	18,548	47,939
税引前当期純損失(△)	△45,254	△343
法人税、住民税及び事業税	1,568	12,662
法人税等調整額	53,419	△30,191
法人税等合計	54,987	△17,529
当期純利益又は当期純損失(△)	△100,242	17,186

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

(単位：千円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金			利益剰余金	
		資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余金 合計	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計
当期首残高	285,030	315,033	100,593	415,626	197,930	197,930
当期変動額						
当期純利益					△100,242	△100,242
純資産の部に直接計 上された その他有価証券評価 差額金の 増減						
当期変動額合計	—	—	—	—	△100,242	△100,242
当期末残高	285,030	315,033	100,593	415,626	97,687	97,687

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評 価差額金	評価・換算差額等 合計	
当期首残高	△91,957	806,629	△1,083	△1,083	805,545
当期変動額					
当期純利益		△100,242			△100,242
純資産の部に直接計 上された その他有価証券評価 差額金の 増減			1,083	1,083	1,083
当期変動額合計	—	△100,242	1,083	1,083	△99,159
当期末残高	△91,957	706,386	—	—	706,386

当事業年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金			利益剰余金	
		資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余金 合計	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計
当期首残高	285,030	315,033	100,593	415,626	97,687	97,687
当期変動額						
当期純利益					17,186	17,186
自己株式の取得						
自己株式の処分			△9,411	△9,411		
当期変動額合計	—	—	△9,411	△9,411	17,186	17,186
当期末残高	285,030	315,033	91,181	406,214	114,873	114,873

	株主資本		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	△91,957	706,386	706,386
当期変動額			
当期純利益		17,186	17,186
自己株式の取得	△41,712	△41,712	△41,712
自己株式の処分	32,135	22,723	22,723
当期変動額合計	△9,576	△1,802	△1,802
当期末残高	△101,534	704,584	704,584

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当事業年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益又は税引前当期純損失 (△)	△45,254	△343
減価償却費	42,018	54,345
のれん償却額	12,599	19,451
投資有価証券評価損益 (△は益)	18,680	29,999
抱合せ株式消滅差損益 (△は益)	—	17,939
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	283	2,086
受取利息	△6	△30
支払利息	699	2,440
売上債権の増減額 (△は増加)	△70,852	△4,085
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△5,701	13,129
仕入債務の増減額 (△は減少)	12,624	9,125
未払金の増減額 (△は減少)	27,204	16,184
その他	△8,123	161,621
小計	△15,827	321,866
利息の受取額	6	30
利息の支払額	△699	△2,440
法人税等の支払額	△7,243	△747
法人税等の還付額	9,656	6,246
営業活動によるキャッシュ・フロー	△14,107	324,955
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△8,324	△8,083
無形固定資産の取得による支出	△96,978	△16,590
投資有価証券の取得による支出	△30,000	—
敷金の回収による収入	—	274
子会社株式の取得による支出	—	△452,776
事業譲受による支出	△155,000	△122,050
投資活動によるキャッシュ・フロー	△290,302	△599,224
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	50,000	139,998
長期借入れによる収入	—	300,000
長期借入金の返済による支出	△103,580	△113,420
リース債務の返済による支出	△1,200	△257
自己株式の取得による支出	—	△41,753
財務活動によるキャッシュ・フロー	△54,780	284,566
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△359,190	10,296
現金及び現金同等物の期首残高	716,414	357,223
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	26,682
現金及び現金同等物の期末残高	357,223	394,203

- (5) 財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(持分法損益等)
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「メディア事業」は、主に自社サイト及び販促ツールへの広告枠を販売しております。「医療法人向け事業」は、医療機関向けツールを販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報
前事業年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	メディア事業	医療法人向け事業	
売上高			
顧客との契約から生じる収益	903,897	106,935	1,010,833
その他の収益	—	192,409	192,409
外部顧客への売上高	903,897	299,344	1,203,242
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	903,897	299,344	1,203,242
セグメント利益	197,370	16,562	213,932
セグメント資産	393,272	69,494	462,766
その他の項目			
減価償却費	32,558	7,367	39,925
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	167,342	2,944	170,287

当事業年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	メディア事業	医療法人向け事業	
売上高			
顧客との契約から生じる収益	1,245,145	110,803	1,355,948
その他の収益	—	172,410	172,410
外部顧客への売上高	1,245,145	283,213	1,528,358
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	1,245,145	283,213	1,528,358
セグメント利益	346,715	△3,519	343,195
セグメント資産	979,651	74,960	1,054,612
その他の項目			
減価償却費	61,805	3,875	65,680
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	503,440	5,550	508,990

(注) 前事業年度のセグメント情報は、「注記事項(企業結合等関係)」に記載の暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の金額により開示しております。

4. 報告セグメント合計額と財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	前事業年度	当事業年度
報告セグメント計	213,932	343,195
のれんの償却額	△12,599	△11,776
全社費用(注)	△232,746	△281,327
財務諸表の営業利益	△31,413	50,091

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(単位:千円)

資産	前事業年度	当事業年度
報告セグメント計	462,766	1,054,612
全社資産(注)	558,699	504,380
財務諸表の資産合計	1,021,465	1,558,992

(注) 全社資産は、報告セグメントに帰属しない資産であります。

(単位:千円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額		財務諸表計上額	
	前事業年度	当事業年度	前事業年度	当事業年度	前事業年度	当事業年度
減価償却費	39,925	65,680	16,203	14,270	56,129	79,951
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	170,287	508,990	44,588	—	214,875	508,990

(注) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、主に全社資産及び管理部門に係る資産の増加であります。

(企業結合等関係)

(企業結合に係る暫定的な会計処理の確定)

2023年11月14日に行われた株式会社しずおかオンラインのくらし情報メディア「くふう Live!」事業の企業結合について前事業年度において暫定的な会計処理を行っておりましたが、当事業年度に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当事業年度の財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されております。

この結果、暫定的に算定されたのれんの金額32,371千円は、会計処理の確定により9,301千円減少し、23,070千円となっております。のれんの減少は、主に顧客関連資産が12,306千円、繰延税金負債が4,104千円増加したことによるものです。

また、前事業年度末はのれんが9,146千円減少し、主に顧客関連資産が12,100千円、繰延税金負債が3,772千円、利益剰余金が282千円それぞれ増加しております。

前事業年度の損益計算書は、営業損失が50千円、経常損失が50千円、税引前当期純損失が50千円それぞれ増加し、当期純損失が282千円減少しております。

なお、のれんの償却期間は10年で、のれん以外に配分された顧客関連資産の償却期間は10年であります。

(取得による企業結合)

1. 株式会社メディカルリサーチの株式取得による会社の買収及び当社への吸収合併

当社は、2024年10月1日付にて株式会社メディカルリサーチ(以下「メディカルリサーチ」という)の発行済株式総数の全てを取得し直接所有の完全子会社化するとともに、合併期日(効力発生日)2024年12月1日付にて吸収合併いたしました。

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 株式会社メディカルリサーチ
事業の内容 医師ネットワークを活用したマーケティング支援

② 企業結合を行った主な理由

メディカルリサーチは、医師を中心とした専門家の知見を取り入れたメディアマーケティング支援を行なっております。メディカルリサーチの監修医師などのネットワークと当社の持つ監修医師を含めた専門家の親和性が高まることで、顧客へのサービス提供価値がアップすること及びこれらによる収益獲得を見込んでおります。

③ 企業結合日

2024年10月1日(株式取得日)

④ 企業結合の法的形式

現金及び当社の普通株式を対価とする株式の取得

⑤ 結合後企業の名称

変更はありません。

⑥ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金及び当社の自己株式を対価とする株式取得によりメディカルリサーチの議決権の100%を取得したことによるものです。

(2) 財務諸表に含まれる被取得企業の業績の期間

2024年10月1日から2024年12月31日まで

(3) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金 427,276千円	22,723千円
	交付する当社の自己株式	
取得原価	449,999千円	

(4) 株式の種類別の割当比率及びその算定方法並びに交付した株式数

	当社	メディカルリサーチ
割当比率	1	3,191
交付株式数	当社普通株式：16,116株	

(注) 1. 株式の割当比率

メディカルリサーチ社普通株式1株に対して、当社の普通株式3,191株を割当交付いたしました。

2. 株式の割当比率の算定方法

当社の株式価値については、当社が東京証券取引所グロース市場に上場しており、また市場株価は日々変動することから、一時点の株価終値だけではなく過去の平均株価も考慮するため、市場株価平均法(算定基準日は2024年9月30日とし、算定基準日までの直近6営業日の各取引日の終値の単純平均値)により1株あたり1,410円を採用しました。なお、算定基準日の株価終値は1,399円です。

これに対し、メディカルリサーチ社の株式価値については、非上場会社であり、市場価値が存在しないため、将来の事業活動の状況を評価に反映するため、ディスカウント・キャッシュ・フロー法(DCF法)による評価額を基に、当事者間において慎重に協議の上、1株あたり4,500,000円としました。

(5) 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等 25,500千円

(6) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

① 発生したのれんの金額

388,008千円

② 発生原因

取得原価が取得した資産及び引き受けた負債に配分された純額を上回ったためです。

③ 償却方法及び償却期間

10年間にわたる均等償却

(7) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産	181,775千円
固定資産	380千円
資産合計	182,155千円
流動負債	120,164千円
負債合計	120,164千円

(8) 企業結合が事業年度の開始の日に完了したと仮定した場合の当事業年度の損益計算書に及ぼす影響の概算額及びその算定方法

当事業年度における概算額の算定が困難であるため、記載しておりません。

2. Litro Co.,Ltdが運営するYouTubeチャンネル「ときめきデイズ」事業譲受

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 Litro Co.,Ltd

事業の内容 YouTubeチャンネル「ときめきデイズ」事業

② 企業結合を行った主な理由

「ときめきデイズ」は、恋愛マンガYouTubeチャンネルで、YouTubeの広告による収益をメインに、当社への売上・利益の貢献、海外チャンネルの運営ノウハウ取得が見込まれるものと判断し、本事業を譲り受けることといたしました。

③ 企業結合日

2024年11月15日

④ 企業結合の法的形式

現金を対価とする事業譲受

⑤ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として事業を譲り受けたためであります。

(2) 取得した事業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	100,000千円
取得原価		100,000千円

(3) 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等 10,100千円

(4) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

① 発生したのれんの金額

69,380千円

② 発生原因

今後の事業展開から期待される将来の超過収益力によるものであります。

③ 償却方法及び償却期間

10年間にわたる均等償却

3. 株式会社エドワードアンドカンパニーが運営するYouTubeチャンネル「胸キュン漫画ナナクマ」、
「胸キュン漫画ナナクマちゃん」事業譲受

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 株式会社エドワードアンドカンパニー
事業の内容 「胸キュン漫画ナナクマ」、「胸キュン漫画ナナクマちゃん」事業

② 企業結合を行った主な理由

「胸キュン漫画ナナクマ」、「胸キュン漫画ナナクマちゃん」は、恋愛マンガYouTubeチャンネルで、YouTubeの広告による収益をメインに、当社への売上・利益の貢献、海外チャンネルの運営ノウハウ取得が見込まれるものと判断し、本事業を譲り受けることといたしました。

③ 企業結合日

2024年12月1日

④ 企業結合の法的形式

現金を対価とする事業譲受

⑤ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として事業を譲り受けたためであります。

(2) 取得した事業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	52,050千円
取得原価		52,050千円

(3) 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等 5,305千円

(4) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

① 発生したのれんの金額

36,112千円

② 発生原因

今後の事業展開から期待される将来の超過収益力によるものであります。

③ 償却方法及び償却期間

10年間にわたる均等償却

(共通支配下の取引等)

1. 取引の概要

(1) 結合当事企業の名称及び当該事業の内容

企業の名称 当社の完全子会社である株式会社メディカルリサーチ
事業の名称 医師ネットワークを活用したマーケティング支援

(2) 企業結合日

2024年12月1日

(3) 企業結合の法的形式

当社を存続会社とし、株式会社メディカルリサーチを消滅会社とする吸収合併

(4) 結合後企業の名称

株式会社ベビーカレンダー

(5) その他取引の概要に関する事項

当社の経営資源の有効活用と経営の効率化の観点から、当社が株式会社メディカルリサーチを吸収合併し1つの組織体として事業運営を行うことが最良であると判断したものです。

2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」に基づき、共通支配下の取引として処理しております。なお、当該合併に伴い、抱合せ株式消滅差損17,939千円を特別損失に計上しております。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当事業年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
1株当たり純資産額	783円42銭	790円97銭
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)	△111円17銭	19円42銭
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	—	19円13銭

(注) 1. 前事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため、記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当事業年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)		
当期純利益又は当期純損失(△)(千円)	△100,242	17,186
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益又は当期純損失(△)(千円)	△100,242	17,186
普通株式の期中平均株式数(株)	901,668	884,818
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	—	13,191
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

3. 前事業年度の1株当たり純資産額及び1株当たり当期純損失は、「注記事項(企業結合等関係)」に記載の暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の金額により算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。